

環境科学院 地球圏科学専攻
修士論文公開発表会プログラム

【第1日目】 令和5年2月6日(月)

●座長: 関 幸(生物地球化学コース准教授)

- 9:20 – 9:40 **KWOK Jommy(大気海洋物理学・気候力学コース)**
「Annual and inter-annual variations of tropospheric ozone in Sapporo – the role of transport in the springtime peak」
(札幌における対流圏オゾンの季節変動と年々変動)
- 9:40 – 10:00 **松本 真依(雪氷・寒冷圏科学コース)**
「近赤外反射を用いたグリーンランド南東ドームアイスコアの積雪構造と圧密氷化過程」
- 10:00 – 10:20 **宮田 愛美(大気海洋物理学・気候力学コース)**
「外部強制による地表気温応答の季節別地域特性の推定とその評価」
- 10:20 – 10:40 **今井 望百花(生物地球化学コース)**
「オホーツク海における海氷融解後の生物化学的環境と物質供給インパクト」

< 20 分 休 憩 >

●座長: 山下 洋平(生物地球化学コース准教授)

- 11:00 – 11:20 **石井 花菜(生物地球化学コース)**
「A new GDGT index and temperature calibration optimized for the Antarctic Ocean, and its application to reconstruction of seawater temperatures in the Pliocene.」
(南極海に最適化した GDGT 古水温計の確立と鮮新世への応用)
- 11:20 – 11:40 **豊木 峻平(大気海洋物理学・気候力学コース)**
「気球搭載雲粒子測定器 GPS と Cloudscope の同時飛揚による検証」
- 11:40 – 12:00 **安井 翼(大気海洋物理学・気候力学コース)**
「全球同化モデル(ECCO-LLC270)を用いた南極沿岸流(ASC)についての研究」

- 12:00 – 12:20 **山本 倅多**(生物地球化学コース)
「Nitrogen isotopic analysis of amino acids for estimating trophic position of costal marine species around Hokkaido」
(アミノ酸の安定窒素同位体比($\delta^{15}\text{N}$ 値)を用いた北海道沿岸の食物連鎖網の可視化)

< お 昼 休 み 12:20 – 13:20 >

●座長:西岡 純(生物地球化学コース教授)

- 13:20 – 13:40 **仁木 正義**(大気海洋物理学・気候力学コース)
「機械学習を用いた日本の都市部におけるPM_{2.5}の動態変動予測手法の開発と検証」
- 13:40 – 14:00 **渡邊 果歩**(雪氷・寒冷圏科学コース)
「グリーンランド北西部カナック氷帽における2012–2022年の表面質量収支」
- 14:00 – 14:20 **金谷 みちる**(生物地球化学コース)
「アセチル化における炭素同位体分別の解明」
- 14:20 – 14:40 **王 碧茹**(大気海洋物理学・気候力学コース)
「Development of aerosol origin model and its applications to the analyses of transboundary air pollution events」
(エアロゾル起源モデルの開発と越境大気汚染事例解析への適用)
- 14:40 – 15:00 **田中 陸渡**(大気海洋物理学・気候力学コース)
「観測データに基づいたノルディック海におけるPolar Low—海洋間相互作用の研究」

< 20 分 休 憩 >

●座長:箕輪 昌紘(雪氷・寒冷圏科学コース助教)

- 15:20 – 15:40 **伊藤 佳樹**(大気海洋物理学・気候力学コース)
「機械学習を用いたシベリア域の森林火災の発生件数と焼失面積の予測」
- 15:40 – 16:00 **竹内 祥太**(雪氷・寒冷圏科学コース)
「北海道東部別寒辺牛川における有色溶存有機物の流出動態」
- 16:00 – 16:20 **澤 優助**(大気海洋物理学・気候力学コース)
「温帯低気圧の検出と成因分析に関する研究」

16:20 - 16:40 ZHOU Jiakai(生物地球化学コース)

「Accumulation of Iron in Sea Ice during Ice Formation
Ice Tank Experiment」

(海氷形成と鉄の取り込みに関する研究 アイスタック実験)

【第2日目】 令和5年2月7日(火)

●座長:白岩 孝行(雪氷・寒冷圏科学コース准教授)

9:20 - 9:40 菅谷 智司(生物地球化学コース)

「Trophic position estimate of marine fish larvae viewed via the $\delta^{15}\text{N}$ values of amino acids: the effect of variation in the body size」

(アミノ酸の安定窒素同位体比を用いた海水魚の栄養段階推定:稚魚における体サイズの影響評価)

9:40 - 10:00 西條 竜碧(生物地球化学コース)

「IODP U1422 地点堆積物中の砂含有量と泥鉱物組成に基づく北部日本海の堆積環境の復元」

10:00 - 10:20 本田 茉莉子(大気海洋物理学・気候力学コース)

「オホーツク海における海氷の融解量及び熱塩輸送量の推定」

10:20 - 10:40 清水 さくら(生物地球化学コース)

「水月湖コア中のバイオマーカーを用いた完新世気候復元」

< 20 分 休 憩 >

●座長:堀之内 武(大気海洋物理学・気候力学コース教授)

11:00 - 11:20 高木 悠司(生物地球化学コース)

「河川における体サイズおよび生活様式が異なる微生物による溶存有機物分解に関する研究」

11:20 - 11:40 成田 健志(大気海洋物理学・気候力学コース)

「南極エンダービーランド沖における秋季亜表層暖水の時空間変動」

11:40 - 12:00 飯田 幹太(雪氷・寒冷圏科学コース)

「羊蹄山山頂部の周氷河環境の研究」

12:00 - 12:20 後藤 寛治(生物地球化学コース)

「北太平洋表層における単細胞性窒素固定ラン藻グループ B の時空間分布と生物地球化学パラメータとの関係」

< お 昼 休 み 12:20 - 13:20 >

●座長:大島 慶一郎(大気海洋物理学・気候力学コース教授)

- 13:20 - 13:40 棒 茉優(雪氷・寒冷圏科学コース)
「グリーンランド南東ドームアイスコアの電気伝導度と不純物の解析」
- 13:40 - 14:00 権藤 駿(大気海洋物理学・気候力学コース)
「ウェッデル海南部における氷床融解水の分布とその経年的変動」
- 14:00 - 14:20 佐藤 広夢(大気海洋物理学・気候力学コース)
「東南極サブリナ海岸沖における淡水輸送」
- 14:20 - 14:40 藤本 海(大気海洋物理学・気候力学コース)
「海面熱フラックスデータに基づく南大洋の海面熱吸収変化とその要因」
- 14:40 - 15:00 高瀬 拓海(大気海洋物理学・気候力学コース)
「金星探査機あかつきを用いた金星雲層における筋雲に関する研究」

< 20 分 休 憩 >

●座長:青木 茂(大気海洋物理学・気候力学コース准教授)

- 15:20 - 15:40 王 韵涵(生物地球化学コース)
「Origin and formation process of marine atmospheric organic aerosols during the spring phytoplankton bloom in the Sea of Okhotsk」
(春季植物プランクトンブルーム期のオホーツク海における海洋大気有機エアロゾルの起源と生成過程)
- 15:40 - 16:00 植田 純生(大気海洋物理学・気候力学コース)
「北海道オホーツク海陸棚の海底混合層・高濁度水とその行方」
- 16:00 - 16:20 小川 直斗(大気海洋物理学・気候力学コース)
「東シナ海上の停滞前線に伴う大雨に見られた日周期変動の研究」
- 16:20 - 16:40 岩田 啓杜(大気海洋物理学・気候力学コース)
「南極海の海流に着目した CMIP6 解析」

●令和4年9月修了生

- ・令和4年7月28日(木) 9:50~10:10
- ・場 所: 環境科学院 大講義室 D201
- ・座長: 力石 嘉人 (生物地球化学コース教授)

9:30 - 9:50 頼 祥星 (生物地球化学コース)

「Spatiotemporal high-resolution mapping of biological production in the Southern Ocean」
(南大洋における生物生産量の時空間高解像度マッピング)